



日本機械学会流体工学部門 フロンティア表彰を受賞

流体科学研究所 石本淳 准教授は、「マイクロスラッシュ粒子の連続生成技術開発ならびにマイクロキャビテーションを伴う乱流微粒化の数値予測手法開発」により、日本機械学会流体工学部門 フロンティア表彰を受賞し、2010年10月30日開催の第88期 日本機械学会流体工学部門 講演会(山形大学工学部, 米沢市)にて表彰されました。

本受賞は、極低温微細固体窒素粒子の連続生成技術開発に世界に先駆けて成功し、また、マイクロキャビテーションを伴う乱流微粒化の数値予測手法を開発するなど、異分野融合手法により流体工学分野における先駆的貢献をなした業績が評価されたものです。

受賞対象である極低温微細固体窒素粒子生成システムの実用化により、次世代型スーパーコンピュータープロセッサ用冷却、アッシングレス半導体ウェハー洗浄、高エンタルピ固体水素ストレージング、ならびに高温超伝導(HTS)ケーブル冷却技術等のブレークスルーとなりうる広範囲異分野にまたがる工学的応用が期待できます。さらに、マイクロキャビテーションを伴う乱流微粒化の数値予測手法が開発されたことにより、自動車用ガソリンエンジンの燃費向上と製造工程の短縮化・コスト削減、インジェクターの実モデル試験を必要としないバーチャルプランニングが可能となります。

問い合わせ先:

石本 淳 准教授

東北大学流体科学研究所 附属流体融合研究センター

実事象融合計算研究分野

電話: 022-217-5271

E-mail: ishimotojun@ieee.org

URL: <http://alba.ifs.tohoku.ac.jp/>



表彰式の様子

